

東北海区沿岸水温予報(2006年)

海域	経過 (4~6月)	現況(7月上旬~ 7月下旬)	見通し (9~11月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水研発表)	定置水温 4月: 平年並 5月: 平年並~やや高い 6月: 平年並~やや低い 津軽暖流流勢指標(6月) 0,50,100m 層最高水温: 平年並 水塊深度: 平年並 張り出し位置: やや弱い	定置水温 7月上旬: 平年並 7月中旬: 平年並~やや高い 7月下旬: 平年並~やや低い	津軽暖流域の水温は平年並で推移する。 津軽暖流の東方への張り出しは平年並からやや弱め。	7月末の日本海の定線観測結果では、対馬暖流の勢力は平年並。 沿岸定置水温は、気象の影響でやや低い期間もあるが、概ね平年並で推移している。	6月の定線観測において、北緯40°32'、東経143°19'~144°19'及び北緯41°26'、東経143°19'~144°39'の水深75~150m層に1台の冷水が観測された。 珍しい魚(4~7月) ノギリザメ(関根兵中)、オオカワボウズギンボ(大町中)、スキ(船作)
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水研発表)	4月 表面: 県北部沖合20~40海里でやや高め、県中部沖合50海里でやや低めのほかは平年並。 100m: 県北部沖合5~50海里から県中部沖合30海里付近にかけてやや高めのほかは平年並。 5月 表面: 県北部0~40海里で平年並、その他の海域では低め~やや低め。 100m: 県北部沖合20~40海里でやや高め、県中部沖合30~40海里から県南部沖合30~50海里にかけてやや低め。 6月 表面: 全域で平年並~低め。 100m: 全域で平年並~低め。	表面: 県南部沖合30~40海里でやや高め、その他の海域では平年並~低め。 100m 深: 県中部沖合20~30海里から県南部沖合30~40海里にかけてやや高め~高め、その他の海域では平年並~低め。	期間前半は、全域で低め基調の平年並、期間後半は平年並で推移する。	金華山沖暖水塊が継続し、沿岸付近での北上暖水波及が加わるものと考えられる。 統計手法による100m深水温予測では1ヶ月後を低め基調の平年並と予測している。	イカ釣りスルメイカが低調で過去5年と比べて約半分の水揚げであった。 4~6月の海洋観測では、50~100m付近に顕著な水温躍層が形成され、躍層下には低温(5℃以下)の水が点在していた。
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水研発表)	4月には、表面水温、100m深水温ともに、北部海域では5℃以下の親潮系水に、南部沖合海域では10℃以上の黒潮系水に覆われ、38°30'Nを境に、2種類の系水が明瞭に分布していた。水温の状況を平年と比較した場合、親潮系水の分布する北部海域を中心として1~3℃低めであり、これに対して黒潮系水が波及する南部沖合海域では1~5℃高めであった。 5月には、141°50'E~142°30'E付近の38°N~38°30'Nでは、表面・100m深とも平年より1~2℃高めであったが、これ以外の海域では親潮系水の勢力が強く、表面で1~5℃低め、100m深では1~3℃低めであった。 6月には、表面・100m深ともに、38°30'~39°Nの142°E以東の北部沖合海域を中心に平年より低めであったが、38°~38°30'Nの南部沖合海域では、平年より1~3℃高めで、黒潮系水の北上が認められた。	7月上旬には、表面水温は、38°30'~39°Nの142°E以東の北部沖合海域を中心に平年よりやや低めで、38°~38°30'Nの南部沖合海域では、概ね平年並であった。また、100m深水温は、38°30'Nの142°30'Eの海域を中心に平年より2~4℃低めであった。 7月下旬には表面水温が上旬に比較して、38°30'Nライン周辺で1~6℃昇温した一方、38°Nラインの141°30'E以西海域では、2~3℃降温した。また100m深では、38°30'Nの142°10'~30'Eに5℃以下の冷水が分布しており、親潮系水の影響が認められている。	期間を通じて、ほぼ平年並で推移する海域が多い。 142°50'E以東の38°Nライン周辺では、8月には平年よりやや低めだが、9月には平年並で推移する。 142°50'E以東の38°Nライン周辺では8月には平年よりやや高めだが、9~10月には平年並で推移する。 この他の海域では、8~9月には平年並、10~11月は平年並又はやや低めで推移する。 [親潮系水の勢力は一部の海域を除いて弱まり、黒潮系水の影響等により水温が平年並で推移する海域が多いと考えられる]	「宮城県沿岸の海況予測モデル」により予測を実施した。(2006年7月の類似年は1994年7月と1999年7月であった) この他の海域では、10~11月は平年並又はやや低めで推移する。	定置網によるサバ類の漁獲が近年になく好漁となっている(6月の水揚げは対前年で534%)
常盤北部 (福島県沿岸; 福島水試発表)	期間を通して沖合からの黒潮系暖水の波及が強く、距岸50海里以内の水温は平年よりやや高めで推移した。県北部海域および本県のごく灘側の表面付近には比較的低温・低塩分の水塊が分布したが、親潮系冷水の目立った波及はみられなかった。	本県中南部毎或中距岸30海里より沖合には広く黒潮系暖水の波及がみられる。本県沖30海里付近より灘側と鶴ノ尾崎沖60海里付近の表面付近には親潮由来とみられる低塩分の水塊がみられた。距岸50海里以内の平均水温は平年よりやや高めであった。	沖合からの暖水波及が弱まるとともに親潮系冷水の小規模な南下がみこまれ、水温は高め基調が解消し平年並み付近で推移するとみこまれる。	7月中旬現在黒潮系暖水の南からの供給は継続しているが、徐々にわずかながら弱まってきている。100m深水温を用いた統計的予測においても、暖水波及が弱まる傾向がみられた。さらに、7月観測において鶴ノ尾沖の表面に親潮系水の波及がみられ、以降衛星画像ではその南下傾向がみられるため。	オキアミのまとまった魚群は4月以降みられず、漁場が形成されなかった。 3月以降黒潮系暖水の波及傾向が継続し、平年より極めて高い水温を観測した定点が多くみられた。 6~7月、本県北部海域境付近の底層(20~30m)で低酸素の水塊が観測された。 6月下旬以降、本県海域にひらく Ceratium furca による赤潮が発生している。本種による赤潮発生は平成11年以来

<p>常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿 岸; 茨城水試 発表)</p>	<p>4月は黒潮系暖水に広く覆われ、表面水温は10～13 台、100m深水温は8～11 台で概ね「平年並み」となった。 5月は強い黒潮系暖水が常磐南部海域～鹿島灘にかけて波及したことから、4月より大幅に昇温した。表面水温は常磐南部の灘よりで、14～20 台、鹿島灘の灘よりで15～18 台となった。 100m深水温は平年値より最大2.5 程度高かった。一方で鹿島灘南部の沖では最大で -3.0 程度低くなった。 6月は5月と同じような水温の傾向を示した。黒潮系暖水が本海域を広く覆った。表面水温は16～21 台、100m深水温は8～13 台で平年値より常磐南部北部で最大2.0 程度高かった。一方で鹿島灘南部の沖では最大で -3.5 程度低くなった。 いずれの期間も黒潮が南偏傾向にあった。</p>	<p>黒潮は南偏傾向を持続した。黒潮系暖水が広く本海域に波及したことで、水温は前月に比べて大幅に昇温した。表面水温は21～24 台で常磐南部海域では最大5 程度高くなった。100m深水温は12～15 台で平年値より常磐南部で最大5 高く、鹿島灘南部の沖では -2.5 程度低くなった。</p>	<p>常磐南部海域のごく沿岸では、夏期に一次的に親潮系冷水が波及し、水温が低下する。黒潮の房総沖での離接岸変動に伴い、沖合から黒潮系暖水が波及した場合は、「高い」となる。 期間を通して常磐南部では概ね「平年並み」～「高い」で推移する。鹿島灘では「やや低い」～「やや高い」で推移すると考えられる。</p>	<p>現在のところ、黒潮流軸に大きく影響を与えるような要素は見られない。 過去の例では、黒潮が南偏傾向を示した年には、親潮系冷水の南下により水温が低下したり、沖合から暖水が波及して海域の水温が上昇したりすることがあった。</p>	<p>例年ではシラス(暖水性)の漁獲が良いと、オキアミ、コウナゴ(冷水性)の漁獲が悪く、逆にシラスの漁獲が悪いと、オキアミ、コウナゴの漁獲が良い傾向がある。今年は(7月末現在)はシラス、オキアミ、コウナゴのいずれの漁獲も悪い状況である。</p>
--	---	--	---	--	--

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4 ~	+4.0 ~	+6.0 ~	+2.4 ~	+4.0 ~	+4.0 ~
高い(7.5%)	+1.6～+2.3	+2.5～+3.9	4.0～+5.9	+1.6～+2.3	+2.5～+3.9	+2.5～+3.9
やや高い(20%)	+0.7～+1.5	+1.0～+2.4	1.5～+3.9	+0.7～+1.5	+1.0～+2.4	+1.0～+2.4
平年並み(40%)	+0.6～-0.6	+0.9～-0.9	1.4～-1.4	+0.6～-0.6	+0.9～-0.9	+0.9～-0.9
やや低い(20%)	-0.7～-1.5	-1.0～-2.4	1.5～-3.9	-0.7～-1.5	-1.0～-2.4	-1.0～-2.4
低い(7.5%)	-1.6～-2.3	-2.5～-3.9	4.0～-5.9	-1.6～-2.3	-2.5～-3.9	-2.5～-3.9
極めて低い(2.5%)	-2.4 ~	-4.0 ~	-6.0 ~	-2.4 ~	-4.0 ~	-4.0 ~